

プレアボイド報告(重篤化回避報告) 平成25年2月実施

NO	患者情報					副作用の 発見者	担当薬剤師	情報発端	薬学的管理の種類	
	性別	年齢	職業	身長	体重					
1	女性	70	主婦	145cm	58kg	薬剤師	薬剤管理指導	処方せん・お薬手帳	副作用:緑内障悪化の可能性	
	経過									
	発現年月日		発見年月日		経過内容・転帰・後遺症等					
	H25・2・14		H25・2・20		緑内障で眼科に通院し始めた方でリスピンRの処方がありそのまま投薬した。後日薬歴確認時に気づき処方医に確認。眼科医からは現段階ではリスピンRは服用続行可の指示ある事を確認					
	被偽薬					併用薬				
	医薬品	1日量	投与経路	使用期間	使用目的	併用薬の薬歴	投与経路	1日量	使用期間	使用目的
	リスピンR150mg	300mg	朝夕食後	長期	不整脈	タプロス点眼液	点眼		初期	緑内障
	原疾患・副作用歴・合併症・アレルギー:不整脈・糖尿病・脂質異常症									
	【薬剤師のコメント】患者様からの聞き取りだけでなく、処方医の確認も徹底することが重要だと改めて実感した。									
	【情報提供により回避出来た事由】今回は問題なかったが、処方医は他科の併用薬までは確認できない場合がある為、今後は気を付けようと思									

(一社)久留米三井薬剤師会 医療連携委員会